

- 問1 16世紀のヨーロッパと世界の情勢についてまとめた記録において、ヨーロッパでキリスト教の権威に対する批判が高まっていた時期に、南アメリカ州で起きていた出来事背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 十字軍の遠征ルートが南アメリカまで延長されたことで、ヨーロッパの文化と現地の文明が融合し、新しい宗教が誕生した。 | 2. カトリックの勢力挽回を図るイエズス会が布教を進める一方で、スペインなどの国々が植民地支配を広げ、現地の文明を滅ぼした。 | 3. ルネサンスの人間中心の考え方が南アメリカに伝わり、現地の先住民がヨーロッパの教会組織を批判する運動を始めた。 | 4. 宗教改革による混乱から逃れるため、多くのプロテスタントが南アメリカへ渡り、インカ帝国と協力して独自の国家を築いた。 |
|---|--|---|--|
- 問2 16世紀に行われた天正遣欧少年使節の派遣について、その目的や果たした役割として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 浮世絵などの日本の錦絵を輸出し、その売上を戦国大名の軍費に充てること。 | 2. モンゴル帝国のフビライに仕えたマルコ・ポーロのように、外交官として長期間滞在すること。 | 3. 日本国内での布教を有利にするため、ローマ教皇の権威を背景にキリスト教の地位を高めること。 | 4. 徳川幕府が鎖国を完成させるため、海外におけるキリスト教の勢力を調査すること。 |
|--|--|---|---|
- 問3 織田信長が安土城の城下町などで実施した「楽市・楽座」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 特定の商人に独占的な営業権を与えることで、幕府の財政を安定させ、寺社勢力との連携を強めるため | 2. 座などの商工業者の特権を廃止し、市場の税を免除することで、自由な商売を認めて城下町を活性化させるため | 3. キリスト教の布教を許可することで南蛮貿易を促進し、最新の武器である鉄砲を大量に確保するため | 4. 農民から武器を没収することで一揆を防ぎ、兵農分離を進めて武士の支配力を高めるため |
|---|---|--|---|
- 問4 豊臣秀吉は、全国の田畑の面積や収穫量を調査する「太閤検地」を行う一方で、農民から武器を取り上げる政策を実施しました。これらの政策によって、武士は城下町に住んで政治や軍事を担い、農民は村に住んで農業に専念するという、身分が明確に分かれた社会の仕組みを何と呼びますか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| 1. 兵農分離 | 2. 寄合 | 3. 門戸開放 | 4. 下剋上 |
|---------|-------|---------|--------|
- 問5 豊臣秀吉が行った太閤検地により、中世から続いていた荘園制が完全に崩壊しました。この検地が土地の権利関係において果たした役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 一つの土地につき一人の耕作者を確定させ、土地台帳に登録した。 | 2. すべての土地を天皇の所有とし、6歳以上の男女に区分田を割り当てた。 | 3. 農民に土地の自由な売買を認め、大規模な地主の出現を促した。 | 4. 公家や寺社による土地の私有を認め、不輸・不入の権を強化した。 |
|-----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
- 問6 豊臣秀吉による刀狩（武具の没収）と、全国の土地の広さや収穫量を調査した太閤検地によって進められた、武士と農民の身分を明確に区別する仕組みを何といいいますか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 兵農分離 | 2. 檀家制度 | 3. 下剋上 | 4. 封建制度 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問7 16世紀のヨーロッパでは、ルターやカルヴァンらによる宗教改革が起こり、プロテスタントの勢力が拡大しました。これに対して、カトリック教会側が勢力の立て直しを目指して組織した修道会と、その活動の背景について述べたものとして最も適切な説明はどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. ローマ教皇の権威を否定する新たな動きとしてイエズス会が結成され、鉄砲の輸出と引き換えにキリスト教を広めることを条件とした。 | 2. 宗教改革の影響でカトリックの信者が減少したため、修道会が貿易を独占することで教会運営の資金を確保しようとした。 | 3. プロテスタントの拡大を阻止するため、ドイツの諸侯が中心となってイエズス会を組織し、武力によるカトリックの再建を図った。 | 4. カトリック教会の改革と勢力回復を目的としてイエズス会が組織され、アジアなど海外への布教活動が積極的に行われた。 |
|--|--|--|--|
- 問8 1549年にフランシスコ・ザビエルが来日して以降、キリスト教は九州を中心に広まりましたが、当時の戦国大名がキリスト教の布教を許可した主な動機として、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 宣教師が持つ高度な天文学や医学の知識を独占し、朝廷での地位を高めようとしたため。 | 2. スペインやポルトガルからの軍事支援を直接受け、天下統一に向けた戦力の増強を図ろうとしたため | 3. キリスト教の教えを広めることで、一向一揆などの仏教勢力に対抗する精神的支柱にしようとしたため。 | 4. キリスト教の布教を認めることで、ポルトガルなどの外国船との貿易による利益や、武器・弾薬の入手を期待したため。 |
|---|--|--|---|
- 問9 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。 | 2. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。 | 3. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地に登録する原則が確立した。 | 4. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。 |
|--|--|--|--|
- 問10 バテレン追放令が出された時期について、日本の歴史上の出来事を示した年表の流れに沿って説明したもののとして適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 織田信長が室町幕府を滅ぼす直前に、仏教勢力の力を弱めるためにキリスト教を保護しようと発令した出来事である。 | 2. ベリーの来航によって開国した後、明治政府が五榜の掲示を出してキリスト教を禁止した際の法令である。 | 3. 豊臣秀吉が全国を統一する過程で発令されており、徳川家康が征夷大将軍となって江戸幕府を開くよりも前の出来事である。 | 4. 徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利した後、幕府の支配体制を固めるためにスペイン人宣教師を追放した出来事である。 |
|--|---|---|---|
- 問11 十五世紀後半、スペインの支援を受けたコロンブスが大西洋を西へ進む航路を開拓しようとした歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 十字軍の遠征が失敗に終わり、キリスト教を広めるための新たな土地をアジア以外に求めたから | 2. オスマン帝国が地中海の交易権を握ったため、アジアとの直接取引ができる新航路が必要になったから | 3. マゼランが既に世界周航を達成しており、その航路の安全性を確認するよう命じられたから | 4. 産業革命が始まり、綿織物の原料となる原綿を大量に輸入するための最短ルートを求めたから |
|--|---|--|---|